

YOGA
YOMUヨ
ガ
ヨ
ム

योगা য়োমু

vol. 7

“ヨガヨム”はヨガまわりの情報を集めた季節の変わりめ発行フリーペーパー。ヨガを知りたい方に、ヨガに行くときに、ヨガ的生活を取り入れてみたい方に、ヨガ的世界を垣間見たい方に、電車のお供に…。そんなみんなの掲示板的フリーペーパーです。

YOGAYOMU VOL.7

SPRING ISSUE / TAKE FREE

©YOGAYOMU 2006 All rights reserved.

যোগা য়োমু YOGAYOMU | MARCH 2006 NO.007

ガネーシャー私の好きな神様ー

リザ・ロウイツ(Leza Lowitz) / Sun & Moon Yoga

先日初めてインドへ行った。ケララでは象に乗った。つかの間の娯楽の間、この30歳の堂々とした生き物は今まで正當に扱われてきたのだらうかと初めて気になった。しかし、権か象の存在は幸運を表すものだとの私のヨガの先生から聞いたことがある。なによりも象の神様ガネーシャは「障害を取り除くもの」として崇拝されているのだから。

インド神話では、夫であるシヴァが狩りに出かけている間にパールヴァティが、息子ガネーシャを生んだとされている。ガネーシャは大きく育った状態で生まれ、誕生と共に母を守る任務を負っていた。帰ってきたシヴァが裸で入浴していたパールヴァティを見つけたとき、自分の家に「よそ者」を発見したシヴァは、すぐさまガネーシャの首を切り落とした。恐ろしいことに、シヴァは自分の息子の首を切ってしまったことに気づき、パールヴァティに息子の頭の代わりに最初に見つけた生き物の頭をつけると約束した。外に出たシヴァが最初に出会ったのは象だった。すぐに象の首を落として家へ持ち帰りガネーシャの身体へつけた。シヴァはその後、ガネーシャ、別名ガナパティを軍隊のリーダーに指名し、仕事に取り掛かる前にガネーシャへ祈りをささげるよう皆に命じた。ガナパティは「分別の神様」としてあがめられている。「ガナ」とは「カテゴリー」、または「分類、理解、計測できる全ての物」を意味する。

ガネーシャは宇宙の相対性理論を体現しており、そこに物事の秩序と関連性を見ることができる。ガネーシャは、ヴィネシュヴァラ (Vighneshvara) またはヴィナハルタ (Vignaharta) として、また「障害を取り除くもの」、「始まりの神様」、「英知の神様」としても広く知られている。人々は新しい事業を始めたり、商売繁盛を願うとき、シッティ (成功のパワー) とブッディ (知性) を授かるようにとガネーシャに成功を祈る。ガネーシャの巨大な象の頭は英知のシンボルであり、その小さく強靱な身体は敏捷性とパワーを意味する。哲学的に考えると、彼の頭部はブラフマン (至高の真実) を、身体はマヤー (幻想) を表す。大きな耳は「ふるい」のようであり、真実 (ブラフマン) と非現実 (マヤー) を差別 (ヴィヴェカ) することなく分別するために使われる。ガネーシャには4本の手がある。ひとつの手では (真実への信仰を引き寄せる) 縄を持ち、もうひとつの手では (物質への執着を絶つ) 斧を持ち、3つ目の手では (スピリチュアルな能力へのご褒美の) 「ラッド



ウー」というインドのお菓子を持っている。ガネーシャの4番目の手は思みを授けるためにいつも差し伸べられている。

25年以上も人を象に乗せてきたというトレーナーに促され、私は象の鼻の上をまたぎ象の首に足をかけた。象の巨大な肩甲骨の間に座りながら、宇宙のとても高いところに浮かんでいるような素晴らしい開放感を味わった。しかし、彼が歩き始めるやいなや、私はバランスを崩しほとんど彼の頭から転げ落ちそうになった。慌てて肩甲骨の間に戻りそっと首につかまった。彼が草を分けてゆっくり歩くとときは、バランスを保つために彼の前足の動きに完全降伏して自分を合わせるしかなかった。この降伏は、大きな流れと調和し、信頼して恐怖感を捨てる境地に至るというヨガの練習によく似ていた。

私は彼の崇拝をたたえ、泊まっていた宿を少し上がってところで、ヨギの彫物師から小さな木彫りのガネーシャを買った (写真左)。今東京のヨギスタジオに鎮座し、平常心を保ち障害に立ち向かうこと、偉大な成功と小さなブレイクスルーは手を取り合っていることを思い出させてくれる。

photos by ケリー・マッカーシー (Kelley McCarthy)